

平成15年2月25日

〇〇の皆様

拝啓 余寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

平成14年10月15日から12月20日までの期間中に、△△工事現場で行った調査におかれましては、皆様から多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。この調査における資料の利用と皆様への謝金の支払について、下記のとおりお願いいたします。

1. データの利用について

この調査は、建設労働安全に関するもので、特に建設現場で働いている職人さんたちの安全に関する意識に関する調査でした。調査を始める当初において、皆様にはこの内容を申し上げませんでした。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

調査を行うなか、皆様の作業の様子や会話などを記録した資料を作成しました。これらの資料はこの研究において極めて重要なものですので、ぜひとも研究の目的に限って使いたいと思います。その前に、資料を使用しても良いかについて皆様のご意向を伺いたいと思います。同封した資料をご覧になったうえ、皆様の意向を次のページから選んでください。その部分を切り取って封筒に入れたあと、□□様に提出してください。

2. 謝金の支払について

この調査は、厚生労働省から補助を受けている研究の一部であり、皆様へは関連規定に基づいて、一定金額の謝金を支払うこととなりました。「謝金受領書」に書いてある金額と、実際受領した金額が合っていることをご確認ください。また、謝金の受領において、次の二点をしてください。

付録 1 データ使用の承諾と謝金支払について

①「謝金受領書」にご自分の住所、氏名を明記し捺印したうえ、□□様に提出してください。

②皆様に支払われた謝金は源泉徴収されておられません。そのため、「謝金支払証明書」をお配りいたしますので、平成 15 年分所得税確定申告時に税務署に提出してください。

上記の二点について、不明なところなどがありましたら、ご連絡ください。

最後に、皆様には重ねて厚く御礼申し上げるとともに、無事工事を終えることと、皆様のご健康を心からお祈りしております。

敬具

東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境学専攻

(兼担) 工学系研究科 社会基盤工学専攻

教授 國島 正彦

東京大学大学院工学系研究科 社会基盤工学専攻

博士課程 3 年 宋 虎斌

----- 切り取り線 -----

1. 資料の使用について

- 資料の全てを研究目的で利用しても良い。
- 資料の一部を研究目的で利用しても良い（利用できる部分に印をつけてください）。
- 資料の全てについて、研究目的であっても使用してはならない。

2. 資料の全てあるいは一部を利用しても良い場合

- 全てについて匿名にしてほしい。
- 全てについて実名にしてほしい。
- 一部について実名にしてほしい（実名にしてほしい部分に印をつけてください）。

脚立作業

1. 作業内容：1F フロア—蛍光灯取り替え作業
2. 作業人員：2名
3. 使用機材：脚立一脚（1,800mm）
4. 工具・道具：ナシ
5. 材料：蛍光灯1本
6. 保護具：手袋
7. 作業の流れ
 - ・ 脚立の変形、脚部の滑り止め、踏み面の破損、開き止めの破損を点検する。
 - ・ 脚立の運搬通路に凹凸はないか、障害物がないか、段差はないかを点検する。
 - ・ 脚立の設置場所に勾配はないか点検する。
 - ・ 脚立を運搬する。
 - ・ 運搬するときは脚立の重心を持ち、ゆっくりと、周りの物に当てないように運ぶ。
 - ・ 脚立をたてる。
 - ・ たてるときは左右の脚柱を持ち、脚立を立てる。
 - ・ 開き止めが完全に止まるまで開いて立てる。
 - ・ 蛍光灯を取り替え位置から少し横にずらして立てる。
 - ・ 脚立の座りは良いか確かめる。
 - ・ 座りを見るときは踏み面一段目に脚を掛けて、ゆっくり体重をかけてみる。
 - ・ 合い番作業員は電気を消す。
 - ・ 脚立に登る。
 - ・ 脚立に登るときは、脚立に向かって左右の脚立を支え、一段ずつ登る。
 - ・ 作業姿勢を作る。
 - ・ 作業姿勢は、最上段踏み栈を跨ぎ、天板の上面に腰を下ろす。
 - ・ 古い蛍光灯を取り外す。
 - ・ 取り外すときはしっかり握り、ゆっくりと、落とさないようにする。
 - ・ 取り外した蛍光灯を合い番作業員に手渡す。
 - ・ 手渡すときは開いてをよく見て手渡す。
 - ・ 新しい蛍光灯を合い番作業員からもらう。
 - ・ もらうときは蛍光灯の中央を持ち、ゆっくり持ち上げる。
 - ・ 蛍光灯を取り付ける。
 - ・ 取り付けるときは、左右のいずれか一方をソケットに固定し、ゆっくりと押し込み、反対側に入れる。
 - ・ 合い番作業員にスイッチを入れさせ、点灯する。

付録 2 脚立作業の手順

- ・ 脚立から降りる。
- ・ 天板を両手で押さえ、ゆっくりと立ち上がり、降りる側に脚を踏み替える。
- ・ 脚立から降りるときも脚立に向かって両手で脚柱を支え、一段ずつゆっくり降りる。
- ・ 脚立を片付ける。
- ・ 脚立は倉庫に整理整頓しておく。

(出典：中央労働基準協会・建設業安全管理研究会編 2002 における作業手順作成例)